

兵庫県保険医協会 尼崎支部ニュース

454号

2025年10月25日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階 兵庫県保険医協会 尼崎支部
TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

健康と医療について考える会「教えて！歯のこと！」

ネットや本ではわからないことを知る機会に

尼崎支部は9月18日、杉の子保育園（尼崎市常高寺）の依頼に応え、健康と医療について語り合う会「教えて！歯のこと！」を開催した。阿部勝也先生（（医）阿部歯科医院）が講師を務め、保育士や保護者など11人が参加した。参加者の感想文を紹介する。

感想文 「教えて！歯の事！」学習会を開きました！

尼崎にある杉の子保育園は、ひとりのこどもと保育士の共同保育所から始まり、今年で57年を迎えました。

杉の子保育園には、保護者・卒園児保護者・職員で「杉の子育てる会」を作り、保育園を良くしていこうとしています。

昨年、保険医協会にお願いして、小児科の先生のお話をお聞きしました。とても好評で、今年も病院の先生のお話を聞きたいと思い、今回は塚口にある阿部歯科の阿部勝也先生に来ていただいて、お話を聞くことが出来ました。

あらかじめ、「フッ素って体にいいのかな？」「歯磨き粉はどんなのがいいのかな？」など、日ごろの歯の悩みや疑問を集め、それをわかりやすく、写真を添えて一つ一つ説明をしていただきました。

保護者の方から「写真も多く、分かりやすく説明をしてもらえて、子どもを早く歯医者に連れていきたいと思った」「ネットや本では知ることが出来ない専門的なお話を聞けて良かった」などの感想が寄せられました。

私自身も気になる歯のことをお聞きすることが出来て、良い学びになりました。

お話しが終わった後、子どもさんの歯も見てもらい、ゆっくりとお話を聞ける学習会、とっても良い時間です。ありがとうございました。



好評を得たスライドをつかった講演

【杉の子保育園職員 大城 多江子】

（2面に参加者の声）

参加者の声



・日々の疑問がスッキリしました。虫歯があるのに、歯医者には行きたくない！と言われてしまうので、日ごろの生活から変えていき、人の手が口に入ることに慣れさせておくことや、栄養もしっかり摂るようにしたいと感じました。

・わかりやすいお話で、大変勉強になりました。子どもはまだ乳歯ですが、生え変わりのことなど、参考になりました。ありがとうございました。

- ・子ども向けに、簡単な内容で「飴を食べてばかりいるとどうなる」というようなお話もお聞きしたいと思いました。
- ・ネットや本では知ることのできない専門的なお話が聞いて良かったです。虫歯になる前にも出来ることがたくさんありそうだとわかったので、一度歯医者に行ってみたいと思いました。
- ・フッ素だったり指しゃぶりなど、気になることが聞いて良かったです。難しい話などもありましたが、虫歯に関しては気をつけないといけないと、意識もできました。ありがとうございました。
- ・子どもの時期によって、虫歯になりやすい場所も違うんだなぁと勉強になりました。乳歯の虫歯がひどくなった時に、生える前の永久歯にも影響があることを知り、学びを深めることが出来ました。
- ・とてもわかりやすく、写真も多くて、お話を聞くことが出来て良かったです。早く歯医者に子どもを連れて行こうと思いました。子どもだけでなく、自分の歯も気になりました。
- ・このように歯のことをゆっくり聞くことがなかったので、よい機会でした。歯って大事なので、子どもの歯を家に帰ったらよく見てみようと思いました。永久歯が生えてきてしまって、乳歯が抜けていないことの原因も聞いて良かったです。



講演に聞き入る参加者ら(左)と質疑応答で参加者からの質問に答える阿部勝也先生(右)

尼崎支部ニュースへの投稿を募集しています

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。



TEL:078-393-1817 / FAX:078-393-1802

e-mail:ishida-c@doc-net.or.jp 担当:石田まで

尼崎社会保障推進協議会 2025年度定期総会 社会保障推進の運動強化をすすめよう！

尼崎支部が加盟する尼崎社会保障推進協議会（尼崎社保協）は9月27日、2025年度定期総会を尼崎市内で開催。加盟団体などから35人が参加した。

主催者を代表し、綿谷茂樹会長（協会理事、尼崎支部長）があいさつに立ち、「政府はOTC類似薬を保険適用から外すなど社会保障費削減を狙っている。」と述べ、来年度の予算で4兆円の医療費削減が進められようとしていることへの危惧を話した。また、県下でひろがっている子ども医療費無料化について、協会のパンフレットをしめしながら、「県内で子ども医療費無料化が広がっており、尼崎市でもようやく不十分とはいえ高校生までとなった」と紹介。「社保協の出番の時だ。いっそうの社会保障推進の運動強化を」とよびかけた。



綿谷会長がパンフレットをかかげ運動の強化を呼びかけた

来賓あいさつで兵庫県社保協事務局長の堤匠氏は「外国人差別などで国民に分断が持ち込まれ社会保障を抑制しようとしている」と社保協の役割を強調。庄本えつこ県議は「斎藤知事はパワハラ問題の百条委員会の報告には背を向け知事の職にしがみついている。知事辞職を求める一言カード運動に協力を」と訴えた。尼崎社保協の瀬井宏幸事務局長からは「昨年11月の対市交渉で、健康保険証の存続と資格確認書の全員交付を求めた。今年もすでに市に要望書を提出した。この回答をもとに11月に対市交渉を行い、国保料・介護保険料引き下げ、健康保険証の存続を求めていく」と報告があり、昨年の無料相談会や、街頭宣伝活動について振り返り、今年度の活動提案がおこなわれた。その他尼崎医療生活協同組合から「九条の碑」設置を主にした社保・平和運動の取り組み、年金者組合から年金引き上げや補聴器購入への助成を求める運動が報告された。最後に活動報告・方針案、予算・決算、新役員を採択し、綿谷茂樹先生が会長に選出された。

— 当事者ととともに制度改善を前進させることが大切 — 社保協総会記念講演 —

総会につづいて行われた尼崎社保協総会記念企画では、障害者の生活と権利を守る尼崎連絡協議会の原田英幸会長と兵庫障害者連絡協議会の井上義治会長が「障害福祉制度の変遷と課題～自立支援法違憲訴訟、優生保護法国家賠償訴訟の経過と意義」と題し講演をおこなった。

原田氏は「障害福祉年金と児童扶養手当の併給について争った堀木訴訟、青い芝の会によるバス乗車拒否の抗議行動など当事者や家族、支援者の粘り強い活動から今日につながる障害福祉制度の前進がある」と報告。

井上氏は、応益負担を打ち出した障害者自立支援法に対する違憲訴訟に対し民主党政権下で応益負担の廃止を盛り込んだ基本合意文書の締結までの活動を報告。

「当事者、支援者の活動の成果として、現在低所得者の利用料が無料となっている」と強調し、運動の重要性を訴えた。ま



講演をおこなう原田秀幸氏(左)と井上義治氏(右)

た「優生保護法被害国家賠償請求訴訟について、本人の同意のないままに不妊治療を受けさせるという現在では考えられない蛮行が合法として行われていたという事実を目の当たりにし、このような思想が二度と蔓延する社会を作らない、作らせない運動を。まだまだ多くの課題があるが、当事者に寄り添い一緒になって制度改善を求めていくことが重要である」と締めくくった。

協会未入会のお知り合いの先生、ご子弟に 協会への入会を是非おすすめください！

協会は10月から「秋の組織強化月間」「共済普及期間」に取り組んでします。

ぜひお知り合いの開業医、勤務医、またご子弟などをご紹介しますようお願いいたします。

また、共済普及期間にあたり、新規のご加入はもちろん、すでにご加入の先生も増口・増額をご検討ください。

お問い合わせは 納富・石本・石田 ☎078-393-1840 まで

— 第613回幹事会だより —

10月15日（水）於：かごの屋 塚口店

○ 尼崎支部の会員数

10/1 現在 医科384人、歯科168人

○ 医療をめぐる情勢と運動対策等

自民党総裁選とその後の政局で政治が不安定さを増す中、医療機関経営を圧迫する物価高への対策や次期診療報酬改定など、医療・社会保障への影響がどのようになっているかについてなど意見交換した。

○ 次回開催予定 11月19日（水）13：00～ 於：かごの屋 塚口店